

雲

雲

遙

遙

端

端

隔

隔

楚

楚

遙かに隔つ 楚雲の端
遠く楚の雲のかなたに隔てられている
(孟浩然の詩より)

◎ 倣書とは古法帖から感じられる
結体結構、性情をもとにして
作品と作る事

◎ 王羲之の
蘭亭叙、淳化閣帖、
集字聖教序などを倣書で
書いています